

## 図書委員会「読み聞かせ隊」 低学年学級へ出動

新宿区立大久保小学校 編



実践事例	
1	<b>実践した教科・領域等</b> : 特別活動（図書委員会の活動）
2	<b>対象学年</b> : 第5・6学年（訪問先 第1・2・3学年）
3	<b>活用した書籍情報</b> : 「ぐりとぐら」中川李枝子文 大村百合子絵 福音館書店 「ねえ、どれがいい？」ジョン・バーニンガム文・絵 松川真弓訳 評論社 「三びきのやぎのがらがらどん」（北欧民話）マーシャ・ブラウン絵 瀬田 貞二訳 福音館書店 「11びきのねこ」馬場のぼる こぐま社
4	<p><b>読書活動の実践の概要</b> : 全1時間（他、放課後と低学年学級に読み聞かせ活動10分×4回）</p> <p>① こども図書館の司書の方に作ってもらった「読み聞かせリスト」の本から、二人か三人組で、自分たちが読みたい本を選ぶ。</p> <p>② 読み聞かせのコツを図書支援ボランティアの先生に教えてもらい、練習する。</p> <p>③ 図書担当の教諭に聞いてもらい、「読み聞かせ隊許可証」（カード）をもらう。（放課後）</p> <p>④ つつじタイム（朝読書の時間）に低学年学級で読み聞かせを行う。</p> <p>※つつじタイム週2回のうち1回を読み聞かせに充て、低学年4学級を回った。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
5	<p><b>活動のポイント</b></p> <p>① 区内図書館の司書の方が図書ボランティアの支援日に、委員会の活動時間があたるように調整する。</p> <p>② 図書室の本で読み聞かせに適した本を事前に多めに用意し、その中から選べるようにする。</p> <p>③ 二人か三人組なので、本をめくる役と読み聞かせる役を分担し、途中で交代する。</p>
6	<p><b>留意点</b></p> <p>① 高学年児童の「読み聞かせ」活動の意欲を高め、低学年学級に聞く意識を持たせるために、訪問する学級担任に予告するとともに、「読み聞かせ許可証」への感想記入を依頼しておく。</p> <p>② 低学年児童に発表するので、委員会担当教諭が「許可証」を使って、声の大きさや読む速さなどを指導しておく。</p>
7	<p><b>連携した諸機関</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新宿区立こども図書館の司書の方に、「読み聞かせに適した本のリスト」を作っていただいた。</li> <li>・ 「としょかん支援クラブ」（NPO）の来校支援日が学校の委員会活動の時間にあたるよう調整し、読み聞かせの指導をしていただいた。</li> </ul>